## 目標は日本の未来への貢献 壮大な夢を抱くシステム開発会社



## リーマンショックを機に 自社サービスの開発が加速

私たちコガソフトウェアは、メイン事業であるソフトウェアの受 託開発を行う一方で、自社サービ スの開発も手掛けています。

同業他社と比べて目立つのが外

注比率の少なさ。優秀なスタッフを集めていますので、多くの開発工程を自社でカバーできています。従業員数は94名と決して大きな会社ではないのですが、知能労働に関しては大企業並みのパフォーマンスを発揮しているのではないでしょうか。仕事のクオリ

ティの高さと信頼は、2000年の創業時から18年連続で黒字決算を達成していることからもお判りいただけると思います。

とはいえこれまで何事もなく順調にやってきたわけではありません。それなりに紆余曲折はあり、それこそ2008年のリーマンショックの

後は一気に発注が減り、売上を大きく落としてしまいました。当時は受託開発に寄りかかる部分が大きく、外的要因に左右されやすかったのです。そこに危機感を覚えたので、自社サービスの開発事業を推し進めることにしました。

## 高齢化社会に貢献する 画期的なシステムを作る

現在我々が取り組んでいるサービスは、過疎地に住む高齢者のための 交通システムや、健康寿命を延ばす ためのソフトウェアなど高齢化社会 に貢献するものばかりです。

その一つである「孝行デマンドの利点を併せ持つ乗合交通シーと路線バステの利点を併せ持つ乗合交通システンで、ドアツードアで乗り降をを開いる上に乗合率を高めてここのようというもの。ここのおけば省きますが、この者がよるというものが増えるようになると外出機会そのものが増えてより健康的な生活を送れるようになるでしょう。

また、「メディカルフィットネス」というスマホやタブレットを使うアプリケーションでは、健康診断結果や体調を入力するだけで生活習慣病を解消する簡単な運動メニューを提供することができます。このアプリが画期的なのは、

「食事制限をしよう」「体重を減らをする」というこれまでの生産活習をしまう」というこれまでの生産量を増やそう」という発想に基でいるところ。筋肉をつけるところ。筋肉をつけるとをを大調量が増えて効率的に脂肪を見体ではなります。です。食事制限だけだと一時的肉です。食事制限だけだと一時筋肉がつかないのでリバウンドの可能性が高くなってしまうのです。

これらの自社サービスについてはなかなか賛同を得られず開発費用をほとんど自社でまかなっていましたが、ようやく一昨年あたり

から大企業から声が掛かるように なりました。

私自身、高齢化や健康の問題は 老若男女問わず日本国民全体の問題と考えていて、我々のサービスはしっかり受け入れてもらえると確信しています。3~4年先のことも重要ですが、事業は20~30年先を見据えることが大事。私は常々、経営者にはこのように先の先を見る「大局観」と、何のために事業をやるのかという「哲学」が不可欠だと思っています。

## ITだからこそ 世の中を良くできる

私がコガソフトウェアを立ち上げた目的は、IT業界にはびこっていたブラック企業を無くすことでした。そちらはリーマンショックを機に一気に数が減り、IT業界の労働環境も改善されてきましたので、当初の願いは叶えられたと思っています。

今は日本全体を良くしたいとい

う思いから高齢化社会向けのサービスを開発していますが、高齢化の問題は決して日本に限ったことではありませんので、このサービスを海外、特にアメリカのような健康志向が強い国にも売ることができると踏んでいます。 そうやひできると踏んでいます。 そうかひ 破綻を救うことができるかもしれません





【写真左】「メディカルフィットネス」で受賞した「第1回健康科学ビジネスベストセレクションズ」の 賞状をはじめ、特許証、SME格付け証書などが並ぶ。【写真右】買い物難民や高齢者の外出を支援 する「孝行デマンドバス」は、どの地域でも導入可能。

企業名: コガソフトウェア株式会社 TSR 企業コード: 29-679431-7

事業内容:ソフトウェア受託開発が中心だが、高齢者福祉の製品も研究開発

**設立:**平成 12 年 3 月 **住所:**〒 110-0005

東京都台東区上野 1-17-6 広小路ビル 4F

**TEL:** 03-3833-0733

WEB: https://www.kogasoftware.com/



多分野で社会貢献を目指すシステム開発会社

26 TSR情報2019 | 新春 27